

第7章 みんなでつくる環境首都

第1節 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育・環境学習の充実

(1) 取組

①「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」の開設

「環境首都とくしま」の実現を目指し、地球温暖化

対策をはじめとした各種環境施策や環境活動を一元的にバックアップするとともに、環境学習や環境教育を総合的にサポートするための「産・学・民・官」の連携・協働による本格的な環境活動拠点として、平成22年4月に「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を開設し、このセンターを中心に、県民総ぐるみによる環境活動や環境学習の推進に取り組んでいます。

環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)の概要

開設時期	平成22年4月1日
開設場所	徳島市西新浜町2丁目3-102（平成29年4月22日移転）
面積・施設等機能	1階 事務室53.0m ² 、会議室109.0m ² 、エコカフェ36.0m ² 2階 会議室100.0m ² 駐車場50台分
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県と特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センターが協働で運営 「環境学習・教育機能」、「普及啓発機能」、「環境活動支援機能」、「地域交流機能」、「地域防災機能」の5つの機能を一箇所に集約して、環境活動連携拠点として移転し、パワーアップオープンした。 子どもから高齢者まで、すべての世代が、気軽に環境について学べることや、あらゆる方々が、環境を合い言葉に、「集い・語らい・共に行動する」ことができる場を目指す。
環境学習・教育機能 「学べる」	<ul style="list-style-type: none"> とくしま環境首都学校を開設し、各種講座や体験型教室の開催。 出前授業の実施や環境アドバイザーの派遣。
普及啓発機能 「伝える」	<ul style="list-style-type: none"> 「地球温暖化防止」や「3R推進」等の啓発イベントの開催。 県内各地における移動パネル展の実施。
環境活動支援機能 「拡がる」	<ul style="list-style-type: none"> 環境普及啓発グッズや教材の貸出。 産・学・民・官が協働で実施する様々な環境活動の助言等、幅広く支援。
地域交流機能 「集まる」	<ul style="list-style-type: none"> 環境団体の研修会等に使用できる会議室貸出。 県民が気軽に交流できるオープンスペース「エコカフェ」の設置。
地域防災機能 「備える」	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時の一時避難所としてのスペースを確保。 一時避難所として防災用品の備蓄。
地球温暖化防止活動推進センター機能	<p>本県における地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」、「調査・分析活動」「情報提供」「民間団体の活動支援」等を総合的に支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止活動推進員等の活動支援 家庭部門や民生業務部門での温室効果ガス削減活動を支援 「クリーンエネルギーの導入」「低炭素交通システムの推進」「カーボンオフセットの推進」等の活動支援 <p>※地球温暖化対策推進法に基づき、地球温暖化対策に関する普及啓発等の推進主体として「特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センター」を地域・地球温暖化防止活動推進センターに指定。</p>

②「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づく取組

環境保全に対する県民意識を高め、環境保全活動への参加を促していくためには、長期的な視野に立った環境教育や環境学習の推進が必要です。本県では、県民・事業者・行政が連携・協働して環境学習を総合的・体系的に進めるため、「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」を平成17年12月に策定しました。

県としては、この方針に基づき、平成30年度においては次の施策を実施しました。

(ア) 環境学習実践モデル事業

「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」の方針を踏まえ、平成19年3月に作成された「とくしま環境学習プログラム」を活用したモデル的な取組に対し、支援を行いました。

県内の4団体が「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」で示された本県で重点的に取り組むべき分野である「ごみ」「生きもの」「水環境」「太陽（エネルギー・地球温暖化）」をテーマに「とくしま環境学習プログラム」を活用した環境学習を行い、「とくしま環境学習フォーラム」（平成31年1月開催）でその成果を発表しました。



とくしま環境学習フォーラム

(ウ) こどもエコクラブ事業

環境省が進める「こどもエコクラブ事業」は幼児（3歳）から高校生まで誰でも参加できる環境活動です。参加した子どもたちは、自然観察や調査、リサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取り組みます。平成30年度には県内で4クラブ276人が組織されて、各地域で活動を展開しました。

(エ) 佐那河内いきものふれあいの里の自然環境学習

佐那河内いきものふれあいの里は、指定管理者であるNPO法人大川原が自然観察指導員による自然環境学習を実施しています。その内容としては、野鳥の観察会、低山ハイキング、動植物の観察など様々なメニューがあります。また、小中学校や民間団体などに対する環境学習も行っています。

(イ) 環境首都 あどぶと・エコスクール

互いに連携・協働しながら主体的に行動する人材の育成のため、道路や河川で行われているアドプト（養子縁組）方式を学校の環境学習活動に適用し、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」という考えのもと、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度「環境首都 あどぶと・エコスクール」を平成19年度に創設しました。平成28年度からは徳島市応神中学校と大塚製薬・大塚化学・大鵬薬品工業の3社とが養子縁組の協定に基づき、3社からの人材派遣や教材費等の支援により、学校から出るゴミの減量化や循環型社会についての学習を効果的に実施することができました。

表7-1-1 自然観察会等の実施状況

学習内容	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
自然観察会	31	605	24	380	32	486
団体等観察会	18	679	19	651	26	658
計	49	1,284	43	1,031	58	1,144



環境首都 あどぶと・エコスクールでの出前授業

(オ) 環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門家を環境アドバイザーとして任命し、県民や事業者の皆さんが自主的に実施する講演会や学習会、地域活動などに派遣しています。平成30年度には38名の方を環境アドバイザーとして任命し、75回派遣しました。



環境アドバイザーによる研修風景

表7-1-2 平成30年度徳島県環境アドバイザー派遣状況

年月日	派遣場所	内 容	参加人数
平成30年4月22日	徳島中央公園	自然観察(植物・昆虫)	19
平成30年5月14日	阿南市長生保育所	ネイチャーゲーム	16
平成30年5月17日	徳島市立富田保育所	ネイチャーゲーム	29
平成30年5月24日	小松島市立和田島保育所	ネイチャーゲーム	12
平成30年5月24日	松茂町役場	ごみと地域での解決法	52
平成30年5月26日	三好市黒沢湿原	植物と昆虫の観察会	25
平成30年5月28日	吉野川干潟	吉野川河口干潟の生物の観察	128
平成30年5月29日	阿南市立羽ノ浦さくら保育所	ネイチャーゲーム	46
平成30年5月30日	ゆめあい認定こども園	ネイチャーゲーム	16
平成30年5月31日	小松島市立立江保育所	ネイチャーゲーム	22
平成30年6月6日	佐那河内村立佐那河内保育所	ネイチャーゲーム	29
平成30年6月11日	阿南市立桑野保育所	ネイチャーゲーム	24
平成30年6月12日	阿南市立山口保育所	ネイチャーゲーム	8
平成30年6月12日	徳島植物園	ネイチャーゲーム	19
平成30年6月13日	阿南市立羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	39
平成30年6月13日	阿南市立宝田保育所	ネイチャーゲーム	21
平成30年6月14日	藍住町正法寺川周辺	体験型ふるさとの川環境観察学習会	101
平成30年6月19日	阿南市立富岡保育所	ネイチャーゲーム	25
平成30年6月19日	阿南市長生保育所	ネイチャーゲーム	16
平成30年6月20日	阿南市立羽ノ浦さくら保育所	ネイチャーゲーム	46
平成30年6月21日	阿南市立中野島保育所	ネイチャーゲーム	12
平成30年6月22日	阿南市立福井保育所	ネイチャーゲーム	18
平成30年6月23日	徳島市立八万保育所	ネイチャーゲーム	18
平成30年6月26日	阿南市立今津こどもセンター	ネイチャーゲーム	19
平成30年6月28日	徳島市立八万東保育所	ネイチャーゲーム	24
平成30年6月29日	阿南市立長生小学校	ネイチャーゲーム	17
平成30年7月4日	徳島市立内町保育所	ネイチャーゲーム	19
平成30年7月5日	牟岐町立牟岐小学校	生物多様性の保全について	27
平成30年7月9日	阿南市立福井保育所	ネイチャーゲーム	15
平成30年7月12日	徳島市立富田保育所	ネイチャーゲーム	26
平成30年7月13日	阿南市立長生いずみクラブ	ネイチャーゲーム	17
平成30年7月13日	阿南市立山口保育所	ネイチャーゲーム	9
平成30年7月13日	徳島市ゆめあい認定こども園	ネイチャーゲーム	15
平成30年7月18日	徳島市立渭東保育所	ネイチャーゲーム	36
平成30年7月18日	阿南市立立江保育所	ネイチャーゲーム	22
平成30年7月21日	北島町立図書館	植物採集講座	16
平成30年8月5日	三好市黒沢湿原	自然観察(植物・昆虫)	27
平成30年8月8日	徳島市立内町保育所	ネイチャーゲーム	21
平成30年8月9日	徳島市河内北保育所	ネイチャーゲーム	22
平成30年9月6日	阿南市立本庄保育所	ネイチャーゲーム	10
平成30年9月14日	阿南市岩脇こどもセンター	ネイチャーゲーム	35
平成30年9月19日	阿南市立津乃峰保育所	ネイチャーゲーム	16
平成30年9月19日	阿南市立新野幼稚園	ネイチャーゲーム	29
平成30年9月24日	吉野川市鴨島公民館	持続可能な開発目標(SDGs)	25
平成30年9月26日	阿南市立桑野保育所	ネイチャーゲーム	23
平成30年10月3日	徳島市渭東公民館	ネイチャーゲーム	17
平成30年10月4日	徳島市立八万保育所	ネイチャーゲーム	22
平成30年10月16日	阿南市今津こどもセンター	ネイチャーゲーム	20
平成30年10月18日	阿南市立見能林小学校	暮らしと環境	83
平成30年10月19日	阿南市立宝田保育所	ネイチャーゲーム	20
平成30年10月23日	阿南市立富岡幼稚園	ネイチャーゲーム	46

年月日	派遣場所	内 容	参加人数
平成30年10月24日	佐那河内村立佐那河内保育所	ネイチャーゲーム	31
平成30年10月24日	阿南市立中野島保育所	ネイチャーゲーム	12
平成30年10月24日	上板町立高志小学校	経済と環境	24
平成30年10月26日	鳴門市板東小学校	3Rとごみの減量	60
平成30年10月30日	小松島市さかの認定こども園	ネイチャーゲーム	17
平成30年10月31日	徳島市立川内保育所	ネイチャーゲーム	19
平成30年11月14日	阿南市岩脇こどもセンター	ネイチャーゲーム	35
平成30年11月15日	上板町立高志小学校	ごみ問題と身近な環境	23
平成30年11月19日	藍住町正法寺川	体験型ふるさとの川環境観察学習会	107
平成30年11月20日	阿南市立津乃峰保育所	ネイチャーゲーム	12
平成30年11月21日	小松島市立和田島保育所	ネイチャーゲーム	12
平成30年11月27日	小松島市さかの認定こども園	ネイチャーゲーム	16
平成30年12月4日	阿南市立富岡幼稚園	ネイチャーゲーム	46
平成30年12月10日	大鳴門橋架橋記念館	環境問題について	13
平成30年12月12日	阿南市立本庄保育所	ネイチャーゲーム	20
平成30年12月13日	阿南市立富岡保育所	ネイチャーゲーム	26
平成31年1月9日	徳島市立渭東保育所	ネイチャーゲーム	38
平成31年1月22日	神山町下分公民館	自然エネルギーと環境	31
平成31年1月23日	阿南市立新野幼稚園	ネイチャーゲーム	26
平成31年1月24日	徳島市立八万東保育所	ネイチャーゲーム	20
平成31年1月28日	徳島市立城東小学校	冬の干潟観察	61
平成31年2月12日	阿南市立羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	34
平成31年2月23日	板野南ふれあいセンター	生物多様性	55
平成31年3月7日	徳島市立八万保育所	ネイチャーゲーム	22

(カ) ビオトープアドバイザーの派遣

ビオトープの専門家をビオトープアドバイザーとして任命し、市町村・事業者及び各種団体等が開催するビオトープの保全・創出に関する学習会や説明会等に派遣し、ビオトープへの取組についての基本的な考え方を指導し、また地域の合意形成や具体的な企画立案等を効率的に進めています。平成26年度には14名の方をビオトープアドバイザーとして任命し、4回派遣しました。(派遣状況は第2部第4章第1節表4-1-3)



出前講座

(キ) 環境学講座等の開講

環境首都とくしまの実現に向け、産学民官が連携・協働し、県民総ぐるみで環境活動に取り組むため、その主体となる、環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、県民を対象とした「とくしま環境学講座」を開講しました。(表7-1-3)

表7-1-3 平成30年度とくしま環境学講座開催状況

年月日	講座名	参加者数
平成30年7月15日～11月25日	とくしま環境学講座「親子環境学習」	143名
平成30年5月8日～平成30年12月7日	とくしま環境学講座「環境学習出前授業」	1,430名

(2) 今後の取組

「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を中心に、平成17年12月に策定した「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づき、環境学習プログラムの普及や環境講座の開設などにより、環境学習を総合的・体系的かつ効果的にすすめるとともに、各主体の連携・協働を推進します。

また、環境アドバイザーやビオトープアドバイザーの派遣などにより、地域における環境活動を支援します。

さらに、「環境首都 あどぷと・エコスクール」などにより、実践的な環境学習活動を推進します。

併せて、県をはじめとした行政や、教育機関、環境団体、企業が実施する環境に関する各種講座や催しなどについて、一元的に情報を収集し、提供する仕組みづくりを行います。

2 学校における環境教育・環境学習の推進

(1) 現状

各学校においては、環境教育を教育目標に位置づけ、児童・生徒の発達段階に応じて、社会科、理科、家庭科などの各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間など、学校の教育活動全体を通じて系統的・計画的に環境教育を行っています。

県としては、平成16年度から児童・生徒・教職員が一体となった継続的かつ自立的な環境保全活動を推進する本県独自の「学校版環境ISO」認証システムを構築し、「学校版環境ISO」の認証取得を推進することで、環境教育の充実を図ってきました。平成24年度からは、これまでの取組を家庭や地域に波及させていく「新 学校版環境ISO」に移行を始め、平成27年度末に移行を完了しました。

また、地球温暖化対策の一環として、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集を行っています。



各学校における活動の様子

(2) 取組

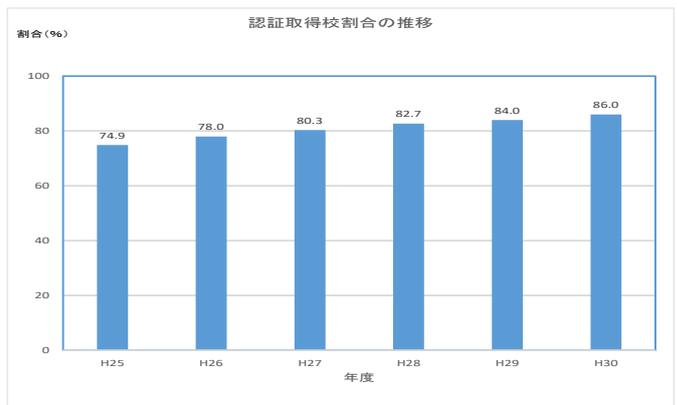
①環境・エネルギー教育推進事業

(ア) 「新 学校版環境ISO」認証取得の推進

平成24年度から移行した「新 学校版環境ISO」では、従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動などに継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に出向いて、環境美化活動や自然観察などの体験活動を積極的に行い、学校での環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的としています。

実施校は、必須項目（節電・ごみ分別・リサイクル活動）と、選択項目（①地域に広げる節電・ごみ分別・リサイクル活動、②地域に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動、③地域に関連したテーマを選び、深めていく環境学習活動、④その他運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動）から1つ以上を選択し、地域や学校の状況に応じた取組を推進します。認定されると認定証（3年間有効）が交付されます。

平成30年度末には、小・中学校、高等学校、特別支援学校の86.0%の学校が「新 学校版環境ISO」の認証を取得し活動をしています。



(イ) エコリーダー養成講座の開催（平成30年度）

「新 学校版環境ISO」の認証取得を目指す学校の環境教育担当の教員などに対して、認証システムの説明や環境教育に関する実践事例集の紹介をするとともに、各学校における環境教育の実践について情報交換などを行いました。また、『体験型ふるさとの川環境観察学習会』の取組について』を表題として、正法寺川を考える会の取組についての講演を行いました。（参加者数94名）



エコリーダー養成講座

(ウ) 環境・エネルギー教育発表会の開催（平成30年度）

「新 学校版環境ISO」認証式、「環境・エネルギー教育推進事業」表彰式に引き続いて、阿南市立新野小学校と上板町立松島小学校の2校が実践発表を行いました。

また、「今あらためて環境教育・学習を考える」をテーマとして、持続可能な開発目標（SDGs）の目指す社会に向けての講演を行いました。

（参加者数 112名）



環境・エネルギー教育発表会

②徳島冬のエコスタイル関連事業

(ア) 徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」(平成30年度)

年の初めにあたり、次の世代を担う子供たちに、地球温暖化防止の大切さを考えてもらう契機とするため、児童・生徒から「地球温暖化防止」にちなんだ書き初め作品を募集しました。

優秀作品については知事賞等を授与するとともに、県庁1階県民ホールや徳島県立障がい者交流プラザ、徳島県立総合教育センターに展示し、県内外に発信しました。（応募作品数 6,520点）



徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」表彰式

(3) 今後の取組

「新 学校版環境ISO」認証取得校の取組や環境教育に関する資料をホームページ等から情報提供することで、「新 学校版環境ISO」認証取得をより一層進め、さらに学校での環境学習の学びを家庭や地域へ波及させていきます。

また、エコリーダー養成講座を開催し、環境教育の指導者の養成を通して、児童・生徒が環境問題の解決に向けて取り組む力を育成するとともに、実施校が取組や成果を発表する場として、環境・エネルギー教育発表会を開催し、環境教育の推進を支援します。

さらに、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集や展示を通して、省エネ・省資源の取組をより広く呼びかけていきます。

3 循環型社会に向けた活動の推進

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境保全に係る意識の高揚を図るため、環境月間・3R推進月間に県民や事業者、各種民間団体の協力のもと、さまざまな行動を行いました。

(1) ごみゼロの日キャンペーンの実施

環境美化に対する意識を高めるため、平成13年度から5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、「ごみゼロの日キャンペーン」を実施しています。関係機関や団体、事業所、学校に身近な場所での清掃活動と呼びかけ、平成30年度は318団体約40,000人が活動に参加しました。

(2) 「買い物で発生するごみの減量化」の推進

消費生活スタイルを見直すことで、ごみ減量と循環型社会の形成を推進するため、令和元年5月、8月の二度にわたり、とくしま環境県民会議、徳島県消費者協会と共に、県内の食品スーパーや産直市などの19事業者と「レジ袋削減等に関する協定」を締結し、県内でチェーン展開する食品スーパーの8割を超える店舗でレジ袋の無料配布が取り止めとなりました。併せて同年8月には、マイバッグ持参によるレジ袋削減を呼びかける「とくしまマイバッグ持参集中キャンペーン」を協定締結事業者の店舗において実施しました。